

## 1 学校教育目標

人間尊重の精神を基盤にして、これからの変化する社会に主体的に対応して生きていくための豊かな人間性や、たくましい心身の育成を目指し、次の目標を掲げる。

- 自ら学び、すすんで努力する生徒                      ○ 他を思いやり、礼儀正しい生徒                      ○ 正しい判断力をもち、心身ともに健康な生徒

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○ 互いの人権を尊重し、優しさや思いやりの心にあふれる学校 ○ 確かな学力を育み、学ぶ楽しさを実感できる学校 ○ 地元綾瀬の一員として、地域に愛され、地域に貢献する学校
○生徒像	○ 自らの生き方に自信のもてる生徒                      ・自ら学び、根気強く努力する生徒                      ・礼儀正しい生徒 ○ 知・徳・体の調和のとれた生徒                      ・自分も他の人も大切に作る生徒                      ・心身ともに健康な生徒
○教師像	○ 生徒を一人の人間として尊重し、こよなく愛す教師 ○ 組織の一員として、連携と協力体制を築く教師 ○ 保護者や地域と協働して、教育を推進する教師

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

### <現状>

- ・生徒は落ち着いて授業に取り組み、自分の将来の夢に向かって着実に努力している。
- ・生徒会活動や委員会活動、部活動や学校行事等を通じて、生徒相互の信頼関係が深まり、自己有用感の向上がうかがえる。
- ・地域の皆様や教員からの声掛けにより、大きな声で「あいさつ」ができる生徒が格段に増え、生徒の明るい声が行きかう学校となっている。

### <前年度の成果と課題>

- ・授業改善に向けた組織的な取組や生徒一人一人に応じた学力向上に対する取組が定着してきた。
- ・「教える 認める ほめる」指導や人権教育の視点に基づく授業改善、一人一人の生徒に寄り添った、きめ細やかな指導が成果を上げつつある。
- ・生徒の自尊感情を高め、人権感覚のさらなる高揚を図ることを目指して教育活動を推進していきたい。

## 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R2	R3	R4	R5	R6
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	豊かな心の育成（東京都教育委員会 人権尊重教育推進校）	○	○	○	○	○
3	ICTの有効活用	○	○	○	○	○

## 5 令和4年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン									
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●			
「主体的・対話的で深い学び」 の実現と学力の定着		<ul style="list-style-type: none"> <li>区学力調査通過率各学年65%以上</li> <li>年度末実施の到達確認テストの正答率各学年60%以上</li> </ul>		自己評価の際に記入							
B 目標実現に向けた取組み											
新・継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達		
継続	(1) 授業力向上	全生徒 全教科	通年	①小中連携授業研究 ・「人権教育」の視点及び足立スタンダードに基づく授業改善(年7回) ②校内授業研究 ・大学教授の授業観察・指導(年5回) ・単元を見通した授業改善 ③管理職による授業観察 ・授業観察時に全教員が学習指導案作成(年2回) ④授業見学週間の実施 ・教員相互による授業評価 ⑤都教育委員会訪問 ・全教科毎に指導主事を招聘し、授業研究を実施 ⑥生徒による授業アンケートの実施(年2回) ・説明のわかりやすさ等について全生徒が回答	①年度末到達度確認テストによる検証  ②次年度区学力調査による検証  ③生徒授業アンケートによる検証	①年度末到達度確認テストの正答率各学年60%以上  ②令和5年度区調査通過率各学年70%以上  ③生徒授業アンケートの数値全項目10%以上向上	自己評価の際に記入				

継続	(2) 家庭学習の充実	全学年 国語 社会 数学 理科 英語 を中心として	通年	家庭学習課題の充実及び 家庭学習の習慣化	①保護者による学校評価  ②生徒授業アンケート	①保護者による学校評価で「家庭学習に関する指導が充実している。」とする回答80%以上 ②生徒授業アンケートで「家庭学習の指示がわかりやすい」とする回答80%以上	<b>自己評価の際に記入</b>
継続	(3) サマースクール	全生徒 数学 英語	夏季 休業日 中の 7日間	基礎学力の定着及び学習の習慣化、学習意欲の向上	事前テスト 事後テスト	最終日に事後テストを実施し、正答率10%以上上昇	
継続	(4) 放課後補充教室	国語 社会 数学 理科 英語 その他	通年	①基礎学力の定着を図る講座 ②定期テスト対策 ③発展的な内容に関する講座 生徒の学力及び興味・関心に応じて開設	①年度末到達度確認テストによる検証  ②次年度区学力調査による検証	①年度末到達度確認テストの正答率各学年60%以上 ②令和4年度区調査通過率各学年70%以上	
新規	(5) A I ドリルタイムの実施	全生徒 国語 社会 数学 理科 英語	通年	①全生徒を対象に、A I ドリルを使った補充学習を実施  ② 生徒を「自立した学習者」に育成	①年度末到達度確認テストによる検証  ②次年度区学力調査による検証	①年度末到達度確認テストの正答率各学年60%以上 ②令和4年度区調査通過率各学年70%以上	

重点的な取組事項－２		豊かな心の育成（東京都教育委員会 人権尊重教育推進校）			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
生徒の自己肯定感・自己有用感の向上		生徒意識調査における関係質問項目の数値向上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
Hyper-QU の有効活用による生徒理解の深化及び学級指導の改善・充実	・Hyper-QU 第2回調査時に「学級生活に満足している」と回答している生徒割合を第1回調査時よりも向上させる。	①Hyper-QU 実施時における研修会及び事例研究（年2回） ②具体的な取組及び調査による成果検証	自己評価の際に記入		
教育相談の充実	・不登校生徒の出現率を前年度比1%縮減 ・学校と関わりのもてない生徒を根絶	①担任教員による2者面談及び全教員による教育相談実施（各1回以上） ②教育相談部会の定例実施（週1回）			
PBS（ポジティブな行動支援）による生徒の自己肯定感・自己有用感の向上	・足立区学力調査・生徒意識調査の「学級の人から頼られている。」 「学級の人から感謝されることがある。」等の設問に対する肯定的回答群の割合を80%にする。	①区教育委員会による研修 ②開かれた学校づくり協議会ボランティアカード等を活用したポジティブな行動支援			

重点的な取組事項－3		ICTの有効活用			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
ICTを活用した「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」の育成		<ul style="list-style-type: none"> <li>・区学力調査通過率各学年 65%以上</li> <li>・年度末実施の到達確認テストの正答率各学年 60%以上</li> </ul>	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
AIドリルの有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒の活用率100%</li> <li>②生徒授業アンケートで、有効に活用されたとする回答80%以上</li> </ul> 国語、数学、英語、社会、理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝学習及び放課後補充教室での活用 (AIドリルタイム)</li> <li>・授業での活用</li> <li>・家庭学習での活用</li> </ul>	自己評価の際に記入		
特別支援学級 ICTモデル校の取組推進	生徒アンケートによる ICT活用の満足度向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>① AIドリルの活用</li> <li>② ICTを活用した授業改善</li> </ul>			